

部活動指導チェックシート

A：良く当てはまる　B：ある程度当てはまる　C：あまり当てはまらない　D：全く当てはまらない

番号	項目	A	B	C	D
1	生徒と信頼関係があり、保護者から「子どもが悪い場合は、叩いてもらってよい。」と言われても、体罰や威圧的な指導は許されない。				
2	自分は、過去に先生から厳しい指導を受けた経験があるが、体罰や威圧的な指導によって成長できる面があるとは思わない。				
3	日常の部活動の中で、自分の言動がパワーハラスメントやセクシャルハラスメント等に該当しないよう気を付けている。				
4	日常の部活動の中で、大声で威圧的に指導したり、怒鳴ったりすることはない。				
5	問題が起きた際、理由も聞かず、生徒を頭ごなしに怒ることや、感情的になって、生徒が傷つくような言葉を発することはない。				
6	指導して改善が見られなくても、椅子や壁を蹴ったり、物を叩きつけたりするなどの威圧的な態度をとることはない。				
7	指導の結果が出なくても、生徒にペナルティを科したり、連帯責任をとらせたりすることはない。				
8	指導の結果が出なくても、過度に悩んだり焦ったりすることはない。				
9	指導がうまくいかない時、生徒が悪いとは考えず、自分の指導のあり方を振り返るようにしている。				
10	保護者や地域の方からの相談や苦情等は、管理職に報告し、自分だけで解決しようと抱え込まないようにしている。				
11	日々の忙しさや家庭のことなどで、イライラすることがあっても、部活動の指導に影響しないよう気を付けている。				
12	校内には、指導上の悩みを管理職や同僚に気軽に相談できる雰囲気がある。				
13	校内には、生徒を指導する際に、大声で叱ったり怒鳴ったりするなど、指導方法が気になる同僚はいない。				
14	部活動費の扱いは、事務室で通帳を管理し、会計報告等を校長名で行うなど、適切な会計管理ができています。				
15	消耗品等、部活動で使用する物品の購入に関して、不適切な会計につながる状況はない。				
16	平成25年3月に県教育委員会やスポーツ関連団体等から示された「体罰根絶宣言」を知っている。				
17	令和7年3月に県教育委員会が策定した「教職員の服務に関するガイドライン」の内容を理解している。				